

所信表明及び予算編成基本方針

令和3年6月

朝 来 市

第22回朝来市議会定例会の開会にあたり、議員各位の御健勝を心からお喜び申し上げますとともに、日頃の御精励に対し、心から感謝申し上げます。

本日ここに、補正予算をはじめ諸議案を提出いたしますとともに、これからの市政運営に対する私の所信の一端と主要な施策を申し述べる機会をいただきましたこと誠に光栄であり、身の引き締まる思いであります。

議員各位をはじめ市民の皆様の御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

【はじめに】

私は、先の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様の御信任をいただき、第3代朝来市長として、市政運営を担わせていただくこととなり、使命と責任感を持ち、全力をあげて、その職責を務めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いており、未だ収束が見えない状況であります。感染拡大防止策の一端を担う新型コロナワクチン接種について、本市におきましては、本年の3月から医療従事者、高齢者施設従事者を対象に、5月からは65歳以上の高齢者を対象に個別接種や集団接種を、順次、実施させていただいております。

この未知のウイルスは、私たちの日常を一変させ、社会生活の営みに制限を余儀なくさせられました。この脅威を克服するためには、ワクチン接種はもとより、新しい生活様式を行政と市民が手を携えて創造していくことが求められており、笑顔で過ごせる日常生活を取り戻すために、私はその先頭に立って取り組んでいく所存であります。

また、市内経済におきましても、極めて深刻な影響が出ていることは、想像に難くありません。今後とも、国・県の制度を有効に活用し、実効性のある支援施策を講じてまいります。

市民の皆様、事業者の皆様、議会、行政が一体となり、この難局を乗り越えるため、知恵を絞り万全を尽くす所存でありますので、御理解と御協力を賜りたいと存じます。

【市政運営の基本方針】

私は、この度の選挙において、市内各所を回り、市政に対する多くの市民の皆様の御意見や生活の実態を見聞きしてまいりましたが改めて、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、今まで以上に市職員一丸となり英知を集結させ、全力で市民生活を守っていかなければいけないと強く感じているところであります。

私は、「全ての住民の皆さんが幸せを実感できるまちづくり」の実現に向け、次に申し上げます5つの施策を重点におき、市政運営を進めてまいります。

1つ目は、「あなたと育む次代の担い手」です。

朝来市発足以後、市内の出生数は約250人で推移していましたが、近年の傾向として200人を切る状況となっております。出産・育児に係る環境整備のほか次世代の朝来市を担う子どもたちへ支援策を推進していく必要があります。特に、不妊治療、妊婦健診、育児相談の充実、ICTをはじめ教育環境整備、子育て相談や支援などの交流支援施設整備、地域に根付くより身近な公園整備など、子育て世代への支援を進めます。

2つ目は、「あなたの暮らしを徹底サポート」です。

高齢者や障がい者への福祉施策の充実、市民が生涯にわたり生きがいを感じ健やかで幸せに暮らせる健幸づくりを進めます。特に、市民の運動機能の向上と高齢者の生きがいづくりの場として全天候型運動施設の整備の検討、高齢者等の生活移動手段である公共交通機関の利便性の向上、JR 和田山駅の南北自由通路・バリアフリー化の整備を進めます。また、地域医療の充実・強化を図るため朝来医療センターの医師確保に努め、安心して受診できる体制づくりに取り組みます。

3つ目は、「あなたと進める儲ける農業」です。

新規栽培品目の導入や特産品の開発を推進するとともに、新規就農者への研修制度の推進、農地集積や経営規模の拡大など安定化を図るための農業支援を進めます。特に農業者への利子補給支援、耕作放棄地を減らし農地を守るため農作業の軽減、効率化を目指し基盤整備事業・夜久野高原開発、森林環境譲与税を有効活用した森林整備、獣害撲滅に取り組みます。

4つ目は、「あなたと創る元気な地域経済」です。

若者の地域定着を図るための企業説明会やワークライフバランスに配慮した就労環境づくりを市内企業と連携して進めるとともに、サテライトオフィス、企業誘致、地元企業の雇用の確保と拡大、起業支援を含め地域経済の活性化に取り組みます。また、コロナ対策についても中小企業者等緊急経済支援やその他きめ細やかな支援策も検討し取り組みます。

5つ目は、「あなたが輝く地域社会」です。

若者が希望を持って暮らせる、女性が躍動する、各地域の元気度がアップするなど市民が輝く地域づくりに取り組みます。特に、職員の意識改革を進め、市民満足度 100%を目指して市民サービスの向上に努めるとともに、地域の均衡ある発展、地域力の強化を図るため旧 4 町の持つそれぞれの地域特性を活かした活力ある地域づくりを進めます。

最後に、朝来市は、合併後、日本遺産に認定された鉱山遺産群・生野銀山や神子畑選鉱場跡、天空の城と称される竹田城跡などの歴史文化に彩られた観光地を前面に押し出す一方で、全国に先駆け、少子高齢化による地域課題を解決するため、市民が主役になれる地域自治組織をつくり「協働のまちづくり」を進めてまいりました。

これからも、朝来市の歴史を受け継ぐとともに、一歩ずつ前へ進むため、5つの施策を柱として今年度以降実行できる施策から順次取り組み、「より進化してキラキラ輝く朝来市へ」と自らが先頭に立ち職員とともに朝来市の未来に対し果敢に挑戦する所存でございます。

議員各位、市民の皆様におかれましては、私の意とするところをお汲み取りいただき、今後の市政運営に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、所信の一端とさせていただきます。

令和3年度6月補正予算編成基本方針

令和3年度は人口政策を最重要課題として取り組みを進めてまいりました第2次朝来市総合計画後期基本計画の最終年度で、総仕上げの一年となりますが、当初予算を骨格予算として編成したことから、今回、政策的経費などを追加する「肉付け予算」を編成いたしました。

また、いまだ収束のみえない新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費につきましても予算を計上することとしており、骨格予算への肉付けと新型コロナウイルス感染症対策の2つの視点から、この6月補正予算の編成を行っています。

まず、「肉付け予算」についてですが、主なものを総合計画の体系別にみますと、

好きなまちで働く（社会増の促進）をテーマとした事業では、

- ・夜久野高原の市有地構想計画、排水路や農道整備に係る工事などを行う「夜久野高原開発事業」及び「農山漁村地域整備交付金事業」
- ・農地の大区画化、農業用水のパイプライン化等に向けた調査設計を行う「水利施設等保全高度化事業」
- ・市内事業者を活用して住宅リフォームを行う市民に対し、改修工事に係る経費の一部を助成する「住宅リフォーム助成事業」
- ・企業誘致に関して調査を行う「企業誘致促進事業」
- ・工場等新增設奨励補助金を追加する「工場等新增設支援事業」
- ・都市計画マスタープランと立地適正化計画の改定を行う「都市計画総務一般管理事業」
- ・生野地区の拠点サイン整備工事を行う「街なみ環境整備事業」
- ・市営住宅新井団地の改修工事などを行う「市営住宅整備事業」

などの予算を計上しています。

次に、好きなまちでエコライフ（社会減の抑制）をテーマとした事業では、

- ・森林ビジョンの策定などを行う「森林経営管理事業」
- ・市道の改良事業や橋りょうの点検などを行う「道路新設改良事業」
- ・河川の浚渫工事などを行う「小規模河川改修事業」
- ・空家等の対策を総合的かつ計画的に推進するための基礎資料とすることを目的に空家等の実態調査を行う「空家等対策事業」
- ・防火水槽の改修工事や消防自動車の更新などを行う「消防施設等整備事業」
- ・災害時の受援計画の策定などを行う「災害対策事業」
- ・竹田城跡保存整備基本計画に基づき保護工事を行う「竹田城跡保存整備事業」
- ・加都王塚古墳等の発掘調査を行う「埋蔵文化財発掘調査事業」

などの予算を計上しています。

また、「文化会館施設等整備事業」では、和田山ジュピターホールの大規模改修に向けた耐力度調査と音響調査に係る予算を計上しています。

和田山ジュピターホールは、建設後 29 年が経過し、老朽化が進んでおり、同ホールを、朝来市の芸術文化の振興と文化芸術活動の拠点として今後も長期にわたって安全・安心に利用できる施設とするため、令和 3 年度から令和 6 年度の計画で大規模改修を行うこととしています。

次に、好きなまちで子育て（自然増の促進）をテーマとした事業では、

- ・不妊の検査及び治療にかかる費用の一部を助成し、不妊症の早期発見、治療を促進するとともにその経済的な負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産ができる環境づくりを推進するために不妊治療ペア検査助成事業及び一般不妊治療費助成事業を行う「特定不妊・不育症治療費助成事業」
- ・GIGAスクール構想を推進し、ICT教育の充実を図るためのGIGAスクールサポーターを配置する「小・中学校教育振興事業」
- ・大規模改造事業に向けた耐力度調査を行う「糸井小学校屋内運動場大規模改造事業」
- ・和田山中学校のスクールバス更新を行う「中学校遠距離通学支援事業」

などの予算を計上しています。

次に、好きなまちで生涯現役（自然減の抑制）をテーマとした事業では、

- ・骨髄等移植ドナー支援事業を行う「保健対策推進事業」
- ・がん患者医療用補整具購入費用助成事業を行う「がん対策事業」
- ・コミュニティ・プラント三波処理区を竹田処理区への統合を行う「コミュニティ・プラント整備事業」

などの予算を計上しています。

次に、好きなまちでいつまでも（長期的な視点で人口減少社会に備える）をテーマとした事業では、

- ・増加傾向にある小規模集落の現状の把握と将来の意向を調査・分析し、新たな施策の検討を行う「地域協働推進事業」
- ・区集会施設の整備に対しての補助金を追加する「区集会施設整備支援事業」

などの予算を計上しています。

次に、庁舎整備事業についてですが、今回の補正予算に、生野庁舎の整備に向けた予算を計上しています。

生野庁舎は昭和 42 年に建築された庁舎で、老朽化が進み、現在の耐震基準を満たしていない状況にあるため、令和 3 年度から令和 6 年度にかけて必要な整備を行う予定としており、令和 3 年度は、基本設計業務などを行うこととしています。

以上が、肉付け予算の主な内容となります。

なお、過疎対策事業についてですが、御承知のとおり、令和 3 年 4 月に、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」いわゆる「新過疎法」が施行されました。

この新過疎法により、朝来市では、これまでの旧山東町に加え、旧生野町及び旧朝来町

が新たに過疎地域に指定されました。

現在、総合的かつ計画的な対策を実施するための「過疎計画」の策定を行っているところですが、過疎計画策定後は、この計画に基づき、必要な予算を計上する予定としています。

今回の補正予算では、過疎計画策定前ですが、一部の道路整備などの投資的事業につきまして、工期の関係などから、市債として過疎債を歳入予算に計上しています。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対策としての予算についてですが、4月25日に兵庫県に三度目となる緊急事態宣言が発出され、現在のところ6月20日まで期間が延長されています。

すでに、令和3年度の当初予算と補正予算第1号及び補正予算第2号におきまして、ワクチン接種関連、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）、中小企業者等緊急経済支援事業としての経営継続支援金の予算を措置しておりますが、

今回の補正予算では、

- ・低所得のひとり親以外の世帯に対して給付金を支給する「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」
- ・新型コロナウイルス感染症による影響を受けた農家を支援するため、農家等の借入資金に対して美しい村づくり資金利子補給金を創設する「農畜産業振興一般管理事業」、
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動の縮小を余儀なくされながらも、労働者の雇用の維持を図ろうとする事業者へ雇用維持助成金を支給する「中小企業者等緊急経済支援事業」
- ・観光産業の再活性化に向け、市内に人の流れと観光需要のより一層の引き戻しを図るための「ふるさと旅行券事業」並びに「特産品購入促進事業」

の予算を計上しています。

新型コロナウイルス感染症は、感染予防対策やワクチン接種などの取り組みを進めていますが、いまだ収束がみえない状況にありますので、今後におきましても、引き続き市内の状況を注視しながら、必要な対策を講じてまいります。

以上の方針のもとに編成しました「令和3年度一般会計補正予算第3号」の予算額は11億2,760万円となり、補正後の予算総額は199億9,530万円となります。

議員各位におかれましては、慎重審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。